
受験

(' `) ウボア

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
受験

【Nコード】
N1286G

【作者名】
(・、・) ウボア

【あらすじ】
灘中学を目指し、約二年間勉強してきた山田太郎。果たして、合格することはできるのか・・・？

僕の名前は山田太郎。小学六年生だ。

僕は、私立中学に受験する予定だ。そのために、六年生になった頃から毎日学習塾に通っている。

平日の塾は、午後五時～午後十二時。びつくりするかもしれないけれど、僕のまわりのみんなもこれくらいの時間まで勉強している。

そして、明日はいよいよ受験の日。僕はとても緊張している。

この日のために、約二年間とんでもない努力をしてきた。明日、実力を発揮せねば、この努力は全て水の泡となる。

僕が挑戦する学校は、灘。無論、偏差値はものすごく高い。

僕はとてもプライドが高い。目指すものも大きい。将来の夢は東京大学合格だ。

受験の日が来た。今日は頑張らねば。昨日はたくさん眠っておいた。風邪もひいていない。ここまでは完璧だ。

阪神電鉄本線の直通特急に乗り、魚崎でおりた。

歩く事十分。目の前には、灘中学が。いよいよだ。

緊張を紛らわせるため、手を水で洗う。滑り止めは全くない。これが、一本勝負だ。

今の時期は冬。とても冷たい風が、僕の体を襲う。僕は身震いがした。

試験会場へと、足を恐る恐るすすめる。

試験が始まった。最初の科目は、国語。さすが灘、問題のレベルは並大抵ではない。

僕は、問題を解き進む。若干できない問題もあったが、殆どの問題をときすすめてゆく。

最後の一つの問題。ものすごく難しい。

わからなかったのでとりあえず飛ばす。見直してみると、意外にも大量のわからない問題があることに気づく。

二問ほどは、わかった。だが、それ以外の問題が全くわからない。駄目だ。国語は諦めよう。

次は、算数、いや、数学。僕達は小学生なのに、微分だの負の数だの馬鹿みたいな問題ばかりだ。これも、どんどんとき進む。わからない問題はない・・・かと思われた。

最後の問題。駄目だ。このパズル系の問題はわからない。諦めた。

その後、理科、社会とやった。両方とも、まずまずの出来であった。合格発表日。僕は、若干わくわくしながら、灘中学の門をくぐった。結果は・・・不合格。僕は肩をがくつと落とした。

滑り止めをつけておけばよかった。だが、後の祭り。僕は泣いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1286g/>

受験

2011年1月13日14時06分発行